

植田地域まちづくりビジョンフォローアップ会議通信 第3号

この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について、地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。



植田地域の将来像（コンセプト）

自然があふれる 住みたくなるまち わさだ

《フォローアップ会議とは》

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、平成30年7月に市長に提言されました。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業に関して、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれについて、取組状況を報告し、今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

令和3年度植田地域まちづくりビジョンフォローアップ会議（書面開催）

令和4年1月25日に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議を招集せずに書面開催での意見集約としました。

《送付資料等》

- 1 地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況について
- 2 資料編
- 3 事前アンケートによる質疑応答
- 4 書面開催アンケート

地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況（抜粋）

本通信では、昨年度から進展が見られた事業や、書面開催の中で委員からいただいたご意見・質疑の中から、主なものを抜粋して掲載しています。

【提言1】誰もが安全に安心して生活できる住環境の整備

（事業名）道路整備（安全・安心な道路整備）

- ◆ 敷戸弾薬庫付近の住民が災害や有事の際に迅速に避難するための道路拡幅
- ◆ 歩道や街路灯の整備など歩行者にやさしい道路整備を進める

＜事業の取組状況＞

- （行政）・避難時のための道路拡幅として、市道曲敷戸団地線の整備を行っており、早期の完成を目指している。
- ・市道駕野寒田2号線の植田東中学校付近の部分拡幅について、現在検討を行っている。
- ・歩行者にやさしい道路整備として、自治会が行う防犯灯・防犯カメラの設置に対する補助や通学路を中心とした整備を継続的に行っている。
- （地域）・自治会が必要に応じて防犯灯や防犯カメラの設置を行っている。
- ・自治会や小中学校を通じて、安全対策が必要な通学路について、道路整備や安全施設の設置などを県や市に要望している。



写真：曲敷戸団地線の付替工事終了箇所

【書面出された意見等】

- ・道路整備にあわせて自転車対策（自転車専用道路等）も必要だと思う。
- ・通学路の歩道等の整備が進んでおり、子ども達の安全の確保ができて嬉しい。
- ・防犯灯と同様に、防犯カメラについても維持費（電気料金）を補助してほしい。

（事業名）高齢者・障がい者等の防災対策

- ◆ 公営住宅の居住環境を整備し、若年層の居住者を増やすことで災害時にも円滑に避難できる体制を構築する
- ◆ 災害時の備蓄物資確保の取組や一人暮らしの高齢者、身体障がい者への支援体制の確保

＜事業の取組状況＞

- （行政）・市営敷戸東・南住宅について、敷戸南町への集約建替工事が完了した。共用部分にはスロープ、エレベーター、手摺を設置しバリアフリーとしたほか、住戸タイプも多様な世帯に対応できるようになっている。（[下図参照](#)）
- ・高齢者等への避難支援体制の確保については、地域での支援体制が欠かせないことから自主防災組織の活動を支援するとともに、広報活動や防災訓練を通じ住民の意識の醸成に努めている。
- （地域）・令和2年度に植田地区の25の自主防災組織が補助金を利用し物資の備蓄を行っている。
- ・毎年、防災訓練としてアルファ米の炊き出しや避難所運営等の実技訓練を、自主防災組織単位で実施している。
- ・令和2年度に植田地区の103の自治会で避難行動要支援者の状況確認を行っている。

【書面出された意見等】

- ・市営住宅の入居率の低下により共益費の負担が増えているため改善してほしい。
- ・地域の防災を考える上で自治委員や自主防災組織と、消防団との連携が大変重要になってくると思う。



敷戸南H29住宅

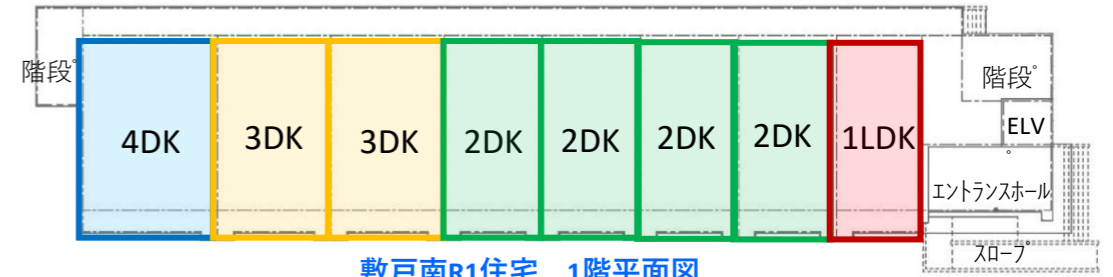


敷戸南R1住宅



敷戸南集会所

多様な世帯に対応できるような住戸タイプ



敷戸南R1住宅 1階平面図

【提言2】快適で魅力あるまちづくりの促進

（事業名）わさだ地区専用コミュニティバスの運行

- ◆ 公共交通の拠点機能（バスセンター等）強化や利便性向上に引き続き取り組むとともに、民間と行政の役割分担を整理する中で、コミュニティバスを充実させる
- ◆ 買い物弱者対策として、わさだタウン・植田市民行政センターを経由するコミュニティバスを運行
- ◆ 大通りまで出なくても良い運行ルートを構築
- ◆ 民間だけでは運行が難しいため、行政による支援が必要

＜事業の取組状況＞

- （行政）・路線バスの停留所から離れた地域については、ふれあい交通で対応しており、植田地区では「旦野原ルート」と「塚野ルート」で運行している。「旦野原ルート」については、令和3年9月から美し野と寒田南町を結ぶ路線を新たに追加している。
- ・公共交通が不便な地域において新たなニーズが生じた場合は、地域の意見をまとめ新ルートについて検討し、運行開始の支援を行っている。
- （地域）・富士見が丘連合自治会では、高齢者の外出支援として自宅から団地中心部にあるグリーンプラザ周辺までを、タクシーで送迎する独自の「おでかけ交通」事業の運営を行っている。
- ・民間事業者による買い物支援として、宅配や移動販売などのサービスを、複数の自治会等で活用している。

【書面出された意見等】

- ・既存のバス路線の維持継続に努めてほしい。

【提言3】 地域資源を活用した子育て環境の整備

（事業名）七瀬川自然公園の整備

- ◆河川プールの整備やBBQなどレクリエーション機能の充実、健康器具の設置等により、若者から高齢者まで、多世代が集いやすい環境を整備
- ◆地域の防災訓練が実施できる環境整備

<事業の取組状況>

- （行政）・レクリエーション施設の充実を図るため、BBQエリアの整備や大規模複合遊具のリニューアルなどを行ってきたところであり、令和3年度は東屋2棟の建替えを実施した。令和4年度以降は園路及び「あやとり橋」の改修等を行う予定としている。
- ・河川プールについては、七瀬川の管理者である国土交通省に確認したところ、公園内の旧河川は平成11年度に親水ゾーンとしての環境整備を完了しており、今後は維持管理のみで新たな整備の考えはないとのことであった。
- （地域）・「ななせの火群まつり」を開催する際など、地域住民や利用者などから公園整備等の新たなニーズが上がった場合には市へ要望を上げていく。



写真：建替えられた東屋

【書面が出された意見等】

- ・七瀬川自然公園を利用する子ども達が気軽に水遊びを楽しめるよう、親水ゾーンの整備をしてほしい。整備により消防団の放水訓練に活用できれば、消防団のスキルアップにもつながると思う。

（事業名）育児後の女性の職場復帰促進

- ◆女性の育休からの職場復帰の促進を図る補助金の創設
- ◆こどもルームや一時保育の拡充
- ◆小中学校などでも子どもをしっかりと預けられるような体制を整備

<事業の取組状況>

- （行政）・令和2年度に、篤野校区の児童育成クラブの建替えを行い、定員が40人増となった。
- ・一時預かり事業は、現在19カ所の保育施設で実施しており、1日あたりの定員は128人となっている。



写真：新しくなった篤野校区児童育成クラブ

- （地域）・女性が安心して働けるよう、各種事業の活用を行っている。

【書面が出された意見等】

- ・子どもの預け先はもちろん大切だが、女性が働くことができる場所の確保や夫婦間での協力が不可欠である。

（事業名）子どもの教育環境の整備

- ◆植田地区の老朽化した学校を、多様化する教育環境に対応した施設としてリノベーション及び改築を行う

<事業の取組状況>

- （行政）・「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、整備を進めることとしている。

【令和2年度実施事業】

- ・横瀬小学校校舎長寿命化改修工事
- ・植田中学校校舎トイレ大規模改修工事
- ・植田東中学校体育館照明LED改修工事 等

- （地域）・横瀬小学校の余裕教室が開放されており、集会室・音楽練習室など、地域社会の拠点として様々な活動に取り組んでいる。



写真：長寿命化改修工事を終えた横瀬小学校校舎

- ・改修が検討されている学校に対し、余裕教室の利活用について地域住民の要望をあげていく。
- ・学校が実施しているグラウンド等の美化活動の際には、PTA会員をはじめ地域住民も積極的に参加している。

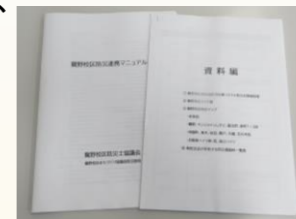
【その他書面が出された意見等】

- ・地域ビジョンの事業の1つに、「公共施設以外の民間施設のバリアフリー化の推進」があるが、公共施設においてもバリアフリー化やユニバーサルデザインが必要な施設がある。特に植田公民館は老朽化しており、エレベーターがないため高齢者や障がいがある方等は利用しづらい状況となっている。

地域の取り組み紹介

事業名 高齢者・障がい者等の防災対策

篤野校区防災士協議会では、地域ごとの災害リスクに対応するため、避難途中の被災を防ぐことなどを目的に、独自の防災マニュアルを令和3年度に作成しました。



宗方校区では、令和2年11月29日に避難所運営訓練の実技訓練を実施しました。また、令和4年2月13日に避難所運営・連携訓練を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、書面による開催となりました。



事業名 農地の活用・保全

寒田校区では、高齢化や核家族化により休耕田が増加していることから、三世代交流を図るとともに良好な自然景観の維持・継承を目的として、休耕田を利用しサツマイモの栽培や収穫体験を行う「3世代ふれあい農園事業」を令和3年度から開始しました。



事業名 地域行事の活性化（市補助金の充実）

寒田校区では、地域課題の自主的な解決や、地域の個性を活かした自立的なまちづくりを行なうため、「寒田校区まちづくり協議会」を令和4年2月1日に設立し、住民や校区で活動する各種団体がより連携して取り組めるよう体制を整えました。令和4年度から「地域づくり交付金※」を活用しながらまちづくりを進めていきます。

※地域づくり交付金…協議会の構成団体や住民が地域課題の解決に向け、それぞれの地域特性に応じたまちづくりを行っていくための活動の財源として、協議会へ交付されるものです。既存の補助金とは異なり、原則として使途が限定されていないことが特徴です。協議会で地域課題解決のためにどのような使い方をするのが効果的なのかを十分に検討していただき、活用することが可能となります。

ふれあい市長室開催報告

令和3年度のふれあい市長室は「あなたの地域のまちづくりビジョン」をテーマとして、地域まちづくりビジョンに関わる各種団体を対象に、その活動をご報告いただくとともに意見交換を行いました。

団体：富士見が丘連合自治会
開催日：令和3年6月3日（木）
場所：富士見が丘公民館



団体：植田校区公民館運営協議会
開催日：令和3年10月6日（水）
場所：植田校区公民館多目的ホール

